【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2017-90470(P2017-90470A)
【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)
【年通号数】公開・登録公報2017-019
【出願番号】特願2017-24647(P2017-24647)
【国際特許分類】
Ｇ０４Ｇ　21/00　(2010.01)
Ｇ０４Ｒ　20/08　(2013.01)
Ｇ０４Ｇ　5/00　(2013.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０４Ｇ　21/00　３０１Ｚ
Ｇ０４Ｒ　20/08
Ｇ０４Ｇ　5/00　Ｊ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成29年6月28日(2017.6.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明は、上記目的を達成するため、
現在の日時を計数する計時手段と、
位置を取得する位置取得手段と、
前記位置取得手段によって取得された前記位置に応じた地方時を求める制御手段と、
を備え、
前記制御手段は、前記位置取得手段によって取得された前記位置が所定範囲内にある場合に、以前に前記位置取得手段によって取得された前記位置によって作成された前記所定範囲への進入経路の履歴に基づいて前記地方時を求める
ことを特徴とする電子機器である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
現在の日時を計数する計時手段と、
位置を取得する位置取得手段と、
前記位置取得手段によって取得された前記位置に応じた地方時を求める制御手段と、
を備え、
前記制御手段は、前記位置取得手段によって取得された前記位置が所定範囲内にある場合に、以前に前記位置取得手段によって取得された前記位置によって作成された前記所定範囲への進入経路の履歴に基づいて前記地方時を求める

ことを特徴とする電子機器。
【請求項２】
前記制御手段は、前記履歴が前記所定範囲の外側から前記所定範囲へ進入したものであるか否かに基づいて前記地方時を求める
ことを特徴とする請求項１記載の電子機器。
【請求項３】
前記制御手段は、
前記履歴が前記所定範囲の外側から前記所定範囲へ進入したものである場合、前回に前記地方時を求めたときに使用された時差情報を使用して、前記地方時を求め、
前記履歴が前記所定範囲の外側から前記所定範囲へ進入したものではない場合、直近の前記位置取得手段によって取得された前記位置が所定範囲ではないと判定されて前記地方時を求めたときに使用された時差情報を使用して、前記地方時を求める
ことを特徴とする請求項２記載の電子機器。
【請求項４】
前記所定範囲は、排他的経済水域であることを特徴とする請求項１～３いずれか一項に記載の電子機器。
【請求項５】
現在の日時を計数する計時手段と、位置を取得する位置取得手段と、を備えた電子機器の日時設定方法であって、
前記位置取得手段によって取得された前記位置に応じた地方時を求める地方時取得ステップを含み、
前記地方時取得ステップは、
前記位置取得手段によって取得された前記位置が所定範囲内にある場合に、以前に前記位置取得手段によって取得された前記位置によって作成された前記所定範囲への進入経路の履歴に基づいて前記地方時を求めることを特徴とする日時設定方法。
【請求項６】
現在の日時を計数する計時手段と、位置を取得する位置取得手段と、を備えたコンピュータを、
前記位置取得手段によって取得された前記位置に応じた地方時を求める地方時取得手段として機能させ、
前記地方時取得手段は、
前記位置取得手段によって取得された前記位置が所定範囲内にある場合に、以前に前記位置取得手段によって取得された前記位置によって作成された前記所定範囲への進入経路の履歴に基づいて前記地方時を求める
ことを特徴とするプログラム。